

教科	工業	科目	課題研究			単位数	3単位
学科	建築工学科	履修学年	3 学年	コース	建築設計コース	必修・選択	必修
教科書	なし						
副教材等	なし						

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①自己実現に向けて主体的に行動し、目標達成のために継続的に粘り強く取り組む能力と態度を育成する。 ②社会の一員として自己の責任を自覚し、他者と協働しながらより良い社会の実現を目指す態度を育成する。 ③人権、差別問題等を正しく理解し、適切な行動をとることができる能力と態度を育成する。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①進路目標に応じた情報収集や分析等により、生徒に現状と課題を認識させ、進路実現への意欲を高め、自主的な学習活動を促す。 ②ICTの活用による学習効果を高める工夫や積極的な授業改善により、生徒が「より深く分かる」授業を展開する。 ③探究活動を通じて、広い視野で物事を捉え思考する能力、課題解決に主体的に取り組む姿勢を育成する。また、発表等の機会を活用し、企画力やプレゼンテーション能力等の育成を図る。 ④人権に関する課題や多様性について理解を深め、課題を自らの事として捉え、人権を尊重する行動がとれる資質を身に付ける。 ⑤生徒の人格を尊重した丁寧な指導や、内面に寄り添った支援等により、自律的な行動への変容を促し、自己指導力を向上させる。

学 習 目 標		工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。 (2) 工業に関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。 (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
指導の重点		生徒が「自ら学び自ら考える」を基本に各自の興味・関心により各自が率先しそのテーマに応じて調査・研究をして取り組む。		
学 習 計 画	学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)	評価方法
	1 学期 (30)	課題・目標の設定 調査研究 設計・制作・組立・作品 レポート など	テーマ別の班編制 年間計画の作成 各テーマで研究・実験・実践	テーマごとに ・取組 ・作業内容 ・自主性、協調性 などを見る。

	2 学期 (36)	各テーマ別に研究の継続 調査研究 制作・組み立て レポート など	進捗状況の確認 計画の確認 各テーマで研究・実験・実践	テーマごとに ・取組 ・作業内容 ・自主性、協調性 などを見る。
	3 学期 (30)	研究テーマのまとめ 発表	発表資料作成 1 年の成果発表	テーマごとに ・取組 ・作業内容 ・自主性、協調性 などを見る。
計 96 時間 (55 分授業)				
評価の観点 の趣旨と 評価方法	知識・技術		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
	研究テーマについての専門的な知識や技術などの深化・総合化を図ることで、工業に関する課題解決に取り組んでいる。		進捗状況を的確に把握し、計画的に学習、制作を行う能力を身につけている。 学習成果をまとめ発表する能力を身につけている。	設定した課題について、自主性と協調性をもって学習するとともに、課題の解決に積極的に取り組もうとしている。
	【評価方法】 以上の観点を踏まえ、作品の完成度、レポート提出、興味・関心、積極性、授業態度などから総合的に判断し、達成率が 80%以上を A、79～50%を B、50%未満を C と評価する。			
学習の ポイント	安全作業を念頭に置き、各種機械・工具・パソコン等を使用し、作品等を制作する。自分で考え、問題を解決し取り組む。			